

第4回企画展

# わたしたちの脳

東京大学医学部・医学部附属病院 健康と医学の博物館

入場  
無料

2012年

2013年

10:00~17:00

9月11日 火 ▶ 1月31日 木

休館日 毎週月曜日 (ただし、月曜が祝日の場合は開館)  
年末年始休み (2012年12月28日~2013年1月4日)  
大学入試センター試験日 (2013年1月19、20日)

常設展

近代から現代への医学の歩み — 医学部と附属病院の150年

住所

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学本郷キャンパス内 医学部総合中央館 (医学図書館) 地下1階

問合せ先

「健康と医学の博物館」事務室

03-5841-0813

Eメール mhm@m.u-tokyo.ac.jp

<http://mhm.m.u-tokyo.ac.jp/>



健康と医学の博物館

Museum of Health and Medicine



健康と医学の博物館は、2011年1月の開館より2万人以上のお客様にご来館いただきました。ここに、厚く御礼申し上げます。これまでの企画展では「感染症」、「血管」、「がん」を取り上げ、関係する医学・医療の話題や、東京大学での取り組みを紹介しました。

第4回企画展では、「脳」を取り上げます。人間の生活において、脳の活動が非常に重要なことは言うまでもありません。われわれは感じ、記憶し、考え、行動するといった、生きることを脳に依っているからです。そして、脳もまた病みます。科学者の脳への興味も尽きず、様々な着眼点から、多様な方法が用いられ、脳の仕組みや機能が解明されてきました。

今回は、科学が明らかにした、わたしたちの「脳」の面白さに気付いていただけることを期待しています。

## 第4回企画展 **わたしたちの脳**

アメリカの生理学者 W.B.Cannon は "The Wisdom of the body"(1932)の中で「生体恒常性(ホメオスタシス)」を提唱しました。脳は生体の恒常性を保っており、生体をシステムとして捉えた時の中心ですが、それ以上に脳はわたしたちそのものであるように思えます。本企画展「わたしたちの脳」では、脳の形、はたらき、病気を取り上げます。

まずは解剖学的な面です。硬い骨格と膜の内側に脳の実質が存在します。脳はいくつかの大きな部分に分かれますが、哺乳類は似たような構造を持っています。これらのことは模型と標本で確認できます。また、ミクロな視点ではニューロンという神経の単位が脳に存在していることも見ていただきます。

大脳皮質の各部位が、いろいろな人間活動を司ることはよく知られています。他の部分はどうなのかならきをしているのでしょうか？脳の仕組みとはたらきが解明されてきた道程と、最近の脳研究をご紹介します。脳研究の応用で、認知学習ロボットの研究も行われています。

やはり、脳の病気も避けては通れません。大きな分類では、がん、血管、外傷、神経変性疾患とその治療を取り上げます。そして、こころの病です。認知症やうつ病への注目も高くなりましたが、患者数の増加に比べ、未だ関心は低いと言わざるをえません。

脳をもっと知りたい、調べたいと思えるような展示を用意しています。

- Zone 1 脳・神経とは？
- Zone 2 脳研究の最前線
- Zone 3 脳の病気
- Zone 4 脳とこころ

## 常設展 **近代から現代への医学の歩み** — 医学部と附属病院の150年

150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績・歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書、医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。

研究室紹介では、シナプスの構造や機能の解析を行っている「神経細胞生物学分野」を取り上げ、教室の紹介と現在の研究を紹介します。



### 東京大学医学部総合中央館(医学図書館) B1F **健康と医学の博物館**

- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) ..... 徒歩8分
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) ..... 徒歩6分
- 湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線) .... 徒歩8分
- 東大前駅(地下鉄南北線) ..... 徒歩10分

※博物館入口は、バス通り沿いです。